



学習支援館

## 教育経済 常任委員会

委員長 熊谷 兼樹



鉢上げしたトマト苗に  
液肥を与える森本さん  
(12P参照)



スクールバス

## 総務厚生 常任委員会

委員長 小野 寛

### 平成25年度 一般会計補正予算

#### 林地崩壊防止事業 690万円の減額

林地崩壊防止事業は個人負担が高額なため、申請者が辞退する事例がある。防災の観点から疑問があり、閉会中に調査を行う。

#### スクールバス整備事業 756万円の減額

スクールバスの発注が、職員の怠慢により遅れ、事業が実施されなかったことにより減額する。議会常任委員会は教育委員会に対し、二度にわたり指摘したことであり、猛省を求めた。

#### 審査意見

##### 新エネルギービジョン推進事業

事業は、町民に解りやすいシステムにすべきで、事業完了までの一連の流れを分離すると責任の所在が不明確になる。混乱を招く可能性があるため慎重な対応を求める。

##### 酒づくり交流館改築事業

事業は議会に対して計画段階で詳細な情報提供に努めるべきだ。また、過疎自立促進計画を変更し、1億円余を要する事業だが、過疎債を利用する他の事業に影響をあたえないよう配慮を求める。



赤名酒造

### 平成26年度 一般会計予算

#### 学習支援館運営事業 1,290万円

運営経費の実績報告、業務報告が明確になっていない、或いは労務管理が不適切との指摘があり、資料の提出、事実確認を求めた。

今後、社団法人化を検討するとしているが、慎重を期するよう求めた。

#### 新エネルギービジョン推進事業

産業振興課が一元的に推進してきている事業だが、その事務の一部を住民課に移管するとしている。住民に無用の混乱をもたらす可能性があり、慎重な対応を求めた。

#### 酒づくり施設の改修及び設備の更新事業 1億1,963万円

当地域での醸造文化継承のための必要性は認められるが、地域住民を巻き込んだ活性化策が不透明であり、丁寧な説明を求めた。

過疎自立促進計画を変更して行う事業であるが、議会への説明が不十分であり、慎重な対応を求めた。

## 議会活動報告 [1月～3月]

- 1** 8日 議会広報編集委員会:委員会報告、紙面校正作業  
12日 飯南町消防団出初め式  
14日 議会広報編集委員会:紙面校正作業
- 2** 7日 議会運営委員会:臨時会の提出議案、日程外の協議  
臨時議会:本会議、質疑、討論、採決  
議会全員協議会  
17日 議会運営委員会:  
19日 総務厚生常任委員会:生活路線バス調査  
21日 教育経済常任委員会:事業進捗状況調査  
24日 雲南広域連合議会2月定例会  
27日 議会運営委員会:3月定例会の提出議案、日程外の協議

- 3** 3日 3月定例会:本会議、町長提出議案の説明  
4日 :本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託  
7日 :本会議、一般質問  
10日 :委員会審査  
11日 :委員会審査  
12日 :委員会審査  
13日 :委員会審査  
14日 :委員会審査  
17日 :予算特別委員会審査、議会全員協議会  
18日 3月定例会:本会議、委員長報告、質疑、討論、採決  
27日 雲南市飯南町事務組協議会定例会  
28日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業

### 平成25年度 一般会計補正予算

#### 教育費 250万円の補助金を返納

スクールバス整備事業の未執行による減額で、教育長から謝罪があった。

このような事態に至ったことに対し、財政担当課に見解を質した。それによると、少なくとも2回教育委員会を指導した。その後、年度内納車が不可能となることが判明したので補助金返納に至った。

#### 飯南町子ども等医療費助成条例の改正

飯南町が進める「子育て支援対策」として、子どもの医療費助成を行い、子育てを支援する。

現在は月額で入院2,000円・通院1,000円を上限として負担がある。改正により、中学校を卒業するまで医療費を無料にする。

#### 定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の改正

人口流出を抑制する目的で、子育て世代の住宅ニーズに対応し、入居資格を緩和する。また、25年以上居住する意思を明確化することで、安定的な定住人口の確保につなげる。

### 平成26年度 一般会計予算

#### 新エネルギービジョン推進事業

太陽光発電導入促進助成、ウッドボイラー導入促進事業の所管が産業振興課から住民課に移行することから、混乱が生じる危惧があり、意見書を付し適切な事業実施を求めた。

#### 集落支援員活動事業

勤務条件が「月17日以内」と明記されている。集落での活動を考えると、月何時間以内とするなど勤務実態に合った形にし、また地域づくり協力隊と同一地区に配置される場合、摩擦が生じないよう弾力的運用が求められると指摘した。

#### 保育所の一時保育延長

飯南町の一時保育は12日の利用制限となっているが、「日数の拡大は可能か」との質疑に、「法律で決まっているものではなく、県内の市町村でも15日を最高に、短い自治体で7日、一時保育の定めのない自治体もあり、今後検討する。」との答弁だった。



## 議会全員協議会の議題

- 2月7日  
①飯南町新庁舎建築設計  
②(株)フロンティアあかぎの経営状況  
③中期財政計画  
④町営バスの転落事故  
⑤志津見旧ダムJ V事務所跡地への定住住宅建設

- 3月17日  
①エコ米乾燥施設整備(カントリーエレベーター)  
②飯南町空き家対策条例  
③サプロ島根の破産に伴う清算事務の完了報告  
④放射性物質に汚染された堆肥の処理  
⑤八神地内のスーパーマーケットの動向  
⑥平成26年度医師・診療体制